

社会福祉法人みたか福祉会

# 令和3年度 事業報告書

1. 令和3年度のまとめ
2. 法人概要
3. 法人役員等
4. 役員会議等の開催
5. 事業所概要
6. 活動報告

## 1. 令和3年度のまとめ

おかげさまで法人開設から第5期を終えることができました。

新型コロナウイルス感染症が日本で確認されてから2年を超え、法人としても危機管理を十分におこないながら事業運営をすすめてきました。各事業所では、すこしでも従前の生活に戻るよう、職員が安心して利用者と関われるよう、感染対策に取り組んできました。

現在、3回目のワクチン接種もすすみ、感染者は減少傾向にありますが、まだ完全な収束が見込めない状況にあります。そのようななか、当法人においては、新型コロナウイルスの感染者を誰一人も出すことなく、この1年間を乗り切ることができました。スタッフをはじめ、ご利用者・ご入居者の皆様、ご家族の皆様、関係各署の皆様のご理解とご協力によるものと心より感謝しております。

さて、令和3年度は、営業体制の強化、事業の黒字化、介護報酬改定への取組み、事業継続計画の策定と運用、新型コロナウイルス対策などを期初の計画の重点課題として取り組んできました。そのなかで、運営方針として掲げた以下の8項目について、ご報告いたします。

### ①感染拡大防止の徹底と継続

感染症拡大防止に対する職員への意識を高めるため、マニュアル整備や研修・委員会等での啓発をおこなった。濃厚接触が疑われた職員には休職対応をとるなど感染拡大防止に努めた。また、Wi-Fi環境を整備し、会議・研修へのリモート参加、オンライン面会の実施などにより、外部との接触機会を減らすことで、感染拡大防止につなげることができた。

### ②専門職の採用とキャリアアップ

十分なサービス提供をおこなうために専門職として介護福祉士2名を採用した。さらに、法人内の職員のキャリアアップとして3名が介護福祉士の資格を新たに取得した。資格手当の見直しなどにより職員の成長意欲を高めることができた。

### ③業務の平準化

各事業部門では、すべての業務に対するマニュアルは完成していないが、現状の業務と照らし合わせながら整備が進んでいる。入職時研修では「ふぁみりあ」の一員として法人理念や事業への取り組みを周知徹底するよう務めた。それと並行して、入職後のOJTでは職員の成長に合わせた支援を行い、職務にたいする不安を取り除き、利用者支援の技能向上につなげるよう努めた。

### ④全体会議や個別面談の実施

各部門における会議は定着化しており、定例的に実施している法人本部の運営会議の内容は、開催後すみやかに職員に伝達できる体制を整えた。また、部門管理者が、給与改定時以外にも必要に応じて個別面談を実施し、意見交換や運営方針の共有に努めた。

### ⑤研修実施や外部との交流

感染拡大防止の観点から、内部研修の多くをオンライン受講とし、計画的な実施体制を整えた。また、外部団体との交流は、感染拡大の恐れがあるため、学生・実習生・ボランティアの

受入れを一部制限するなど、従前のような活動はできなかった。

#### ⑥利用者獲得

感染再拡大の影響により対外的なアプローチを控えることになり新規利用者の見学受入れにも消極的であった。そのため、グループホームの空床の解消や看護小規模多機能の新規利用者の受入れは十分におこなえなかった。地域への継続したアプローチに努めていく。

#### ⑦外部機関との協力体制

ホームページの見直しはできなかったが、特にグループホームの活動内容については、フェイスブックを活用して家族や地域への発信をおこなった。ひきつづき、外部機関への発信方法を見直し、双方向の協力体制を構築していく。

#### ⑧事業所の活性化と地域貢献

Wi-Fi環境を整備できたことで、職員はじめ事業所内での活用はできたが、地域の方々とのオンライン環境の活用については、十分な検討ができず地域貢献にはつながらなかった。

上記のなかには、十分な成果をあげることができなかった点もありますが、それらは今後の継続課題として取り組んでいきます。加えて、財務状況においては、各サービス事業のすべてを黒字化することはできませんでしたが、法人全体の事業活動収支として最終的に黒字化を達成することができたことを報告させていただきます。

令和3年度は、各事業所・職員が「いま必要なこと」について十分に話し合い、そこで共有された課題に向けて協力し合うことを目標にしてきました。おたがいが気持ちよく働ける協力体制をつくりあげることが念頭において業務に取り組むことが求められます。そのときに大切なのは「自分のもてる力を、相手の助けとするために、どれだけ提供できるか」です。「相手のためにできることは何か」を自分なりに考え、一生懸命に取り組むことは、いま以上に素晴らしい結果に結びつきます。ひきつづき職員同士のコミュニケーションを大切にしていきます。

理事長 山田義剛

## 2. 法人概要

法人名	社会福祉法人みたか福祉会	
所在地	〒181-0005 東京都三鷹市中原4丁目34番22号	
法人設立日 (認可日)	平成29年1月10日	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症対応型共同生活介護事業</li> <li>・看護小規模多機能型居宅介護事業</li> <li>・訪問看護事業</li> <li>・企業主導型保育事業</li> </ul>	
事業開始日	平成30年3月1日	
職員体制 (2022.3.31 現在)	職 種 別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統括施設長 1名 グループホーム長 1名</li> <li>・介護支援専門員 2名 (介護員兼務)</li> <li>・介護職員 29名 (常勤12名/非常勤15名) 常勤1名は事務員兼務</li> <li>・看護職員 9名 (常勤1名/非常勤8名)</li> <li>・調理職員 4名 (常勤0名/非常勤4名)</li> <li>・事務職員 1名 (常勤1名/非常勤0名) <span style="float: right;">合計 47名</span></li> <li>(保育職員4名: 常勤3名+非常勤1名)</li> </ul>
	部 門 別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人管理課 1名 (常勤1名)</li> <li>・グループホーム 24名 (常勤12名/非常勤11名/派遣1名)</li> <li>・ナースケアセンター 22名 (常勤7名/非常勤15名)</li> <li>・訪問看護ステーション 9名 (ナースケアセンターと兼務) <span style="float: right;">合計 47名</span></li> <li>(保育園4名: 常勤3名+非常勤1名)</li> </ul>

## 3. 法人役員等 (五十音順/敬称略)

項目	氏名 (主な肩書き)
理事長	山田 義剛
理事	加藤 雅江 (杏林大学医学部 健康福祉学科 教授) 酒井 利長 (株式会社三鷹利久 代表取締役) 西尾 隆 (国際基督教大学教養学部 特任教授) 日向 博 (特別養護老人ホームケアコート武蔵野 施設長) 山田 早苗 (多世代コミュニティホームふぁみりあ 統括施設長)
監事	酒井 利高 (小金井市介護保険運営協議会 副会長) 佐々木信夫 (税理士法人マック・ジェイ 代表社員)
評議員	有江 典子 (こどもデイサービスらびい 管理者) 香川 卓見 (三鷹市大沢地域包括支援センター センター長) 国沢 真弓 (一般社団法人発達障がいファミリーサポートMarble 代表) 野村 優子 (杏林大学医学部附属病院 小児科医 医師) 星野 和子 (三鷹市民生・児童委員協議会 元会長) 松木 隆佳 (リベラルアーツ法律事務所 所長 弁護士) 宮崎陽市郎 (株式会社ミタカロジスティクス 代表取締役)
評議員 選任・解任委員	酒井 利高 (小金井市介護保険運営協議会 副会長) 品川 健 (社会福祉法人みたか福祉会 法人管理課 職員) 田中今朝壽 (元・介護老人保健施設三鷹中央リハケアセンター 事務長)

#### 4. 役員会議等の開催

項目	実施日	内容
理事会	第1回理事会 令和3年5月 (書面開催)	第1号議案：令和2年度・決算報告 第2号議案：令和2年度・事業報告 第3号議案：評議員選任・解任委員の選任 第4号議案：評議員選任・解任委員会の開催 第5号議案：評議員会の開催 報告事項1：監事監査報告
	第2回理事会 令和3年6月 (書面開催)	第1号議案：山田義剛氏 理事長選任 第2号議案：山田早苗氏 施設長選任
	第3回理事会 令和3年11月16日 (オンライン開催)	第1号議題：資金の借入れ 第2号議題：経理規程の改訂 第3号議題：評議員会の開催 報告事項1：令和3年度上期・事業報告 報告事項2：理事長の職務執行状況の報告
	第4回理事会 令和4年3月 (書面開催)	第1号議案：令和3年度・最終補正予算(案) 第2号議案：令和4年度・事業計画(案) 第3号議案：令和4年度・当初収支予算(案) 報告事項1：令和3年度 事業報告 報告事項2：理事長の職務執行状況の報告

項目	実施日	内容
評議員会	定時評議員会 令和3年6月 (書面開催)	第1号議案：令和2年度・決算報告 第2号議案：令和2年度・事業報告 第3～10号議案：理事・監事の選任 報告事項1：監事監査報告 報告事項2：評議員7名の選任
	第2回評議員会 令和3年11月17日 (オンライン開催)	第1号議題：資金の借入れ 第2号議題：経理規程の改訂 報告事項1：令和3年度上期・事業報告 報告事項2：理事長の職務執行状況の報告

項目	実施日	内容
評議員 選任・解任 委員会	令和3年6月 (書面開催)	第1～7号議案：評議員の選任について

項目	実施日	監事名	監査項目
監事監査	令和3年5月25日	酒井利高 佐々木信夫	法人定款第11条第1項の規定に基づき、平成30年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況

## 5. 事業所概要

事業所名	定員
グループホームふぁみりあ	利用定員 18 名（1 ユニット 9 名）
ナースケアセンターふぁみりあ	登録定員 29 名（1 日の利用定員：通所 15 名／宿泊 5 名）
訪問看護ステーションふぁみりあ	利用定員 定数なし
ふぁみりあ保育園	利用定員 11 名（0 歳＝3 名／1 歳＝4 名／2 歳＝4 名）

## 6. 活動報告

月	内容	月	内容
4 月	電気設備年次点検	10 月	ハロウィーン
5 月		11 月	
6 月	エレベータ年次点検	12 月	クリスマス／GH 第三者評価
7 月		1 月	お正月／NC 第三者評価
8 月		2 月	
9 月	敬老会／消防設備点検	3 月	卒園児のお別れ訪問

※各事業所の事業報告は、別紙「事業報告書」を参照

### ◇新型コロナウイルス対策

- ・新型コロナウイルスワクチン接種（3 回目）
- ・定期的な PCR 検査実施、抗原検査キット導入による随時検査
- ・感染対策補助金の申請
- ・濃厚接触が疑われた職員の休業補償の申請
- ・研修&会合へのオンライン参加
- ・GH 入居者とのオンライン面会の実施

◇法人運営に関すること

- ・ 経理規程および帳票類の見直し
- ・ 給与規程&就業規則の見直し
- ・ 給与ソフトの入れ替え
- ・ 勤怠管理ソフトの入れ替え
- ・ 経理ソフトの入れ替え

◇法人内での会議

- ・ 月2回：運営会議および危機管理会議
- ・ 偶数月：GH&NC運営推進会議（書面開催）

◇法人内での研修

- ・ オンライン動画を利用した各種研修（年間計画にもとづく）
- ・ 防災に関する研修
  - 10月：消防訓練（NC／通報訓練・消火訓練・避難訓練）
  - 1月：消防訓練（GH／通報訓練・消火訓練・避難訓練）
  - 3月：消防研修（GH／東京消防庁の動画視聴）

◇法人外での会合・研修

- ・ GH看小多機連絡会 4・7・10・1月（すべて書面開催）
- ・ ケアネット・しんなか（地域住民団体）の会合参加
- ・ ケア専門職交流会（地域包括支援センター主催）の研修参加
- ・ 三鷹市事業者連絡協議会の研修参加

◇求人活動・広報活動

- ・ ハローワークへ求人票掲載
- ・ 求人サービスのウェブサイトへ求人票掲載
- ・ 人材紹介会社へのアプローチ
- ・ フェイスブックで入居者さんの製作物を紹介

◇地域交流室の貸出状況

※新型コロナウイルス感染対策のため外部利用なし

以上